

南相馬

# ミュージアム通信

Minamisoma City Museum News

Vol.30

平成28年7月15日発行

編集・発行

南相馬市博物館

原町区牛来字出口194

0244-23-6421

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp>

平成28年度特別展

ほうとくしほう じょうどしんしゅう もんといみん

## 報徳仕法と浄土真宗門徒移民

### 奥州中村藩の復興への取り組み

平成28年 9月17日(土) ~ 11月23日(水・祝)

平成28年秋、南相馬市で「全国報徳サミット」(10月7日(金)・8日(土))が開催されます。それにあわせて、当地方の天明の飢饉以降の荒廃の状況から報徳仕法により復興を遂げた様子について概観します。また、農民人口の増加を図った浄土真宗門徒たちの移民政策も同時期に行われており、そのことも含め江戸時代末期の奥州中村藩の状況について紹介し、その復興のありかたについて解説します。

報徳仕法 報徳仕法とは、今から約200年前の江戸時代幕末期、二宮尊徳(金次郎)の教えにもとづく農村のたて直しのことをいいます。飢饉などによって、荒れた田畑をたて直し、農民たちが希望ある生活を求めたものです。桜町領(さくらまちりょう、現在の栃木県真岡市辺)や出身地の小田原(現在の神奈川県小田原市辺)をはじめ関東地方の各藩や日光の幕府領(現在の栃木県日光市)で実施されました。



報徳記原稿一部 南相馬市所蔵  
これは二宮尊徳の伝記を著わした「報徳記」の原稿とされる富田高慶の自筆のものです。

南相馬市を含む奥州中村藩では、天明3年(1783)からの天明の飢饉により餓死者が出るなど、人口が激減し田畑も荒地が増え、藩全体が窮乏しました。最初に藩士富田高慶が尊徳に弟子入りしたのをきっかけに、多くの藩士が弟子入りし、報徳仕法を修得、そして藩主をはじめ藩全体で実施を望んだことから、尊徳の許可が得られ、弘化2年(1845)坪田村・成田村(現在の相馬市)の2カ村から始まりました。19年後の元治元年(1864)には領内226カ村のうち101カ村実施され全体の約4分の1の55カ村が立て直しに成功しました。

浄土真宗門徒移民 また藩では、人口増加を目的に、北陸地方に住む浄土真宗門徒の農民を移住させることとしました。しかし、江戸時代の農民の移住は禁止されていたことから、はじめは元家老の久米泰翁の個人事業として行われました。文化10年(1813)越中国砺波郡二日町(南砺市)普願寺出身で藩にいた僧侶発教(ほっきょう)は、久米から依頼を受け地元に戻り移民募集をおこない、藩では最初の移住者に対し手厚い対応をしたことから次々に移住する者が出ました。こうして、弘化4年(1847)には、北陸地方からの移民を含め1万人弱の増加がみられました。

#### 関連講座

「奥州中村藩の報徳仕法」

9月24日(土) 13:30~15:30

受講無料、要申込み。詳細は裏面をご覧ください。各講座定員30名 講師:水久保克英学芸員

「奥州中村藩の浄土真宗門徒移民と報徳仕法」

11月12日(土) 13:30~15:30



木造富田高慶坐像 富田家所蔵

佐藤朝山(玄々)作

相馬市出身の全国的に著名な彫刻家佐藤朝山(後の玄々、1888-1963)が旧藩士の大槻吉直に依頼され、大正10年(1921)以前に制作されたものです。朝山の作品として、現存する木彫の肖像としても珍しいものです。

#### 観覧料

市内の高校生以下..... 無料  
一般..... 300円

詳細は裏面のご利用案内をご覧ください。  
飯舘村の小中高生は無料です。  
障がい者の方と付添いの方1名は無料です。

むりょうかいかんび

## 無料開館日のおしらせ

どなたでも無料で観覧いただける日です。

### 福島県民の日

明治9年8月21日に、旧福島県・磐前県・若松県3県が合併して現在とほぼ同じ福島県の姿が誕生したことになむ。

8月20(土)/21(日)

### 敬老の日

9月19日(月)

### 東北文化の日

東北6県各地の博物館で設けられている無料開放日。期間は10月最終土曜から1ヶ月間のうち。

11月3日(木)

期 日	タイトル	詳 細
しめきり間近! 7月18日 (月・祝海の日)	ビデオ解説会 「日吉神社のお浜下り」 万葉ふれあいセンター(鹿島区寺内)	13:30～15:00 定員200名 講師:懸田弘訓氏(県文化財保護審議委員) 12年に1度の申年に行われる、「日吉神社のお浜下り」の映像記録を上映します。あわせて、海辺の祭りや民俗芸能についての講演を行います。
①回目 7月30日(土) ②回目 8月6日(土)	体験学習 [二週連続企画] 夏休み・押し葉標本を作ろう 「花をとる・押し葉にする」 「台紙に貼り付ける」	9:30～15:00、10:00～12:00 定員20名 講師:桜井信夫氏(あぶくま生物同好会会長)他3名 押し花のタイムカプセルを作ろう!100年後に生き物の記録を届けてみませんか? みんなで押し葉標本を作ります。ついでに夏休みの宿題にしてみえ～。 【持ち物】帽子・タオル・飲み物・油性マジック(太)
7月31日(日)	体験学習 勾玉を作ろう!	10:00～12:00 定員25名 講師:二上文彦学芸員 縄文時代から使用されていた勾玉の歴史や技術を学びながら、滑石で作ります。 【持ち物】鉛筆、汚れてもいいタオル1枚、蛍光ペン
8月27日(土)	体験学習 生き物観察会 1日目 - 南相馬・生き物学校 -	14:00～20:00(予定) 定員20名 講師:大槻晃太氏(福島二ホンザルの会)他7名 第一日目・生き物学校開校式のあと、博物館周辺の雑木林や水辺で、植物や昆虫を観察します。夜はコウモリも観察します。【持ち物】水筒、夕食のお弁当、帽子、履きやすい靴、懐中電灯、(あれば便利な物)虫よけスプレー、図鑑、ルーペ。
8月28日(日)	体験学習 生き物観察会 2日目 - 南相馬・生き物学校 -	10:00～12:00(予定) 定員20名 講師:大槻晃太氏(福島二ホンザルの会)他7名 第二日目・博物館周辺の雑木林で、鳥や植物を観察します。最後は生き物学校閉講式。終了証とプレゼントをお渡しします。【持ち物】水筒、おやつ、帽子、履きやすい靴、(あれば便利な物)虫よけスプレー、図鑑、ルーペ
9月4日(日)	体験学習 化石の標本を作ろう!	10:00～12:00 定員25名 講師:平宗雄氏(博物館収集展示委員)・八巻安夫氏(相馬中村層群研究会) 化石が入った岩石を割ったり削ったりしながら、化石を取り出して標本を作ります。作った標本はお持ち帰りいただけます。
9月24日(土)	講座 奥州中村藩の報徳仕法	13:30～15:30 定員30名 講師:水久保克英学芸員 江戸末期、藩で行われた二宮尊徳の教え報徳仕法の全容について解説します。
9月25日(日)	講座 蓄音機とSPレコード によるコンサート	13:30～15:00 定員80名 講師:マック杉崎氏(蓄音機愛好家) 講師は『世界の蓄音機』監修者であり、ラップ式蓄音機など手回し蓄音機研究の第一人者。氏の解説とともにクラシック・民謡・懐かしの歌謡曲を再生します。お聴き逃しなく。
10月16日(日)	体験学習 ミュージアムキッズ フェア in みなみそうま	10:00～14:00 参加館:九州国立博物館・兵庫県立考古博物館・仙台市縄文の森広場・アクアマリンふくしま・こどもひかりプロジェクト・兵庫県立人と自然の博物館・南相馬市博物館 全国のミュージアムが南相馬にやってきて、いろいろな体験ができるよ。子どもたち集まれ～!
10月22日(土)	講座 相双地方の動物供養習俗	13:30～15:00 定員30名 講師:二本松文雄学芸員 野馬追の里といわれる相馬・双葉地方の馬をはじめ、鮭・鯨・亀などの動物供養を紹介します。
11月3日 (木・祝)	体験学習 封入標本でアクセサリーを つくろう!	10:00～12:00 13:30～15:30 定員20名 講師:当館学芸員 植物の花や実をアクリル樹脂に閉じ込めてペンダントを作ります。 必ず汚れてもいい服装でご参加ください。
11月12日(土)	講座 奥州中村藩の 浄土真宗門徒移民と報徳仕法	13:30～15:30 定員30名 講師:水久保克英学芸員 江戸末期、藩に移民した門徒たちについて報徳仕法への関わり合いとともに解説します。
11月27日(日)	体験学習 コハクを取ってみよう!	10:00～12:00 定員25名 講師:平宗雄氏(博物館収集展示委員)八巻安夫氏(相馬中村層群研究会) 天然樹脂の化石で、宝石でもあるコハクが入った母岩から、コハクを取り出します。取り出したコハクはお持ち帰りできます。

### ご利用案内

#### 南相馬市博物館

問い合わせ ☎975-0051 原町区牛来字出口194 電話:0244-23-6421 FAX:0244-24-6933  
E-Mail: hakubutsukan@city.minamisoma.lg.jp

開館時間 9:00～16:45(最終入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日および年末年始(12月29日～1月3日)  
※月曜日が祝・休日の場合は開館、その翌平日が休館日となります。

観覧料 一般300円(250円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)  
( )内は20名以上の団体料金です。

※市内(飯館村も含む)に居住・通学する小中高生は無料。障がい者の方は無料(手帳をご提示ください)

